

「ハウス」をお持ちの皆様へお知らせです！

今冬はラニーニャ現象発生との報道!!

令和3年 11 月、気象庁は「ラニーニャ現象が発生しているとみられる」と発表しました。今後、冬の終わりまでこの現象が続く可能性があるとして予測され、発生した場合、日本の上空では偏西風が平年より南に蛇行し、寒気が流れ込みやすくなり、**大雪となる恐れがあります。**

被覆材だけでなく、施設本体にも甚大な被害を及ぼす**大雪に備え、園芸施設共済に加入しましょう。**



大雪

備えて安心！園芸施設共済

また春先は事故が多発する季節です!!

突風



《掛金例》

○設置面積：162 m² (5.4m×30m)

被覆期間：3か月、加入期間：1年

被覆材：農ビ0.1mm パッカー留め（新品）の場合

○対象となる損害額1万円以上（小損害不填補特約）及び、
補償割合追加特約2割



本体設置 経過年数	対象と なる 損害額	補償割合		共済金額（円）		加入者負担掛金（円）	
			追加特約		追加特約 +2割の場合		追加特約 +2割の場合
1年未満	1万円 以上	8割	+2割	558,324	697,905	2,088	3,130
5年以上6年未満				440,064	550,080	1,646	2,467
10年以上				321,804	402,255	1,203	1,802

※別途、事務費賦課金をいただきます。



毎年のように異常気象による災害が全国各地で発生しています。

補償が充実した園芸施設共済に加入し災害に備えましょう！

《現在ご加入中の方へ》

所有または管理する農作物の栽培を目的としたハウスの設置面積が200 m²未満の場合、水稲共済や建物共済などの加入を中止すると、次回継続時にご加入いただけないことがありますのでご注意ください。

○ラニーニャ現象豆知識（気象庁ホームページより）

【ラニーニャ現象が日本の天候へ影響を及ぼすメカニズム】

ラニーニャ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が上昇し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が活発となります。このため日本付近では、夏季は太平洋高気圧が北に張り出しやすくなり、気温が高くなる傾向があります。沖縄・奄美では南から湿った気流の影響を受けやすくなり、降水量が多くなる傾向があります。冬季は西高東低の気圧配置が強まり、気温が低くなる傾向があります。